

商工連プラザ 9

VOL.331

商工会は 行きます 聞きます 提案します



1. 市内を囲む「グリーンロード」 2. 幻想的な「灯りまつり」 3. まちのシンボル!「日本一の丸ポスト」 4. 地域資源の「ブルーベリー」



CONTENTS

- 2 都連の新組織「企業支援課」が行う支援の内容とは?!
新規の「中小企業活力向上プロジェクト」の推進と、多摩・島しょ経営支援拠点を中心に支援強化
- 3 矢部久子さん(羽村市)が関東ブロック主張発表大会で最優秀賞
— 関東ブロック商工会女性部交流研修会
- 4 藤村典史さん(国立市)が最優秀賞を受賞
— 東京都商工会青年部連合会の「青年経営者の主張大会」
・多摩テクノプラザ内に複合素材開発サイト完成
・多摩ものづくりガイドブックに掲載する18社決定
・人事交流
- 6 <連載>島おこし・多摩おこし/アサ電子工業 (小平市)
多摩地域商工会エリアの景況 (28年度 第1四半期)
- 7 <連載>私と商工会/細田木工所 (東久留米市)
- 8 多摩・島しょのイベント (10月~11月)

■ 発掘! 商工会地域の観光資源

新宿からわずか30分。武蔵野台地に広がる小平市は、豊かな自然環境に恵まれた人口約19万の田園都市です。市内に、西武新宿線・多摩湖線やJRなど7つの駅があり、都心とのアクセスも良好です。

東西に長いダイヤモンド型の市内の周囲は、「小平グリーンロード」でぐるりと囲まれています。グリーンロードは、狭山・境緑道、玉川上水、野火止用水、小金井公園を結ぶ全長21kmの緑あふれる遊歩道。「新日本歩く道紀行100選/水辺の道100選」に認定されており、市民の憩いの道になっています。

地域資源のブルーベリーは、約50年前に小平市において、日本で初めて農産物として栽培されました。ブルーベリーを使ったオリジナル菓子やジャム、ワインなどは、市内の多くの店で購入できます。夏は、ブルーベリー摘みや直売で賑わいます。

昔懐かしい赤い丸ポストが多数残っていることは、知る人ぞ知る小平市の「あるある」。市内各所に37本残っており、その数は都内第1位。ちなみに23区内に残っているのは5本だけです。中でも、市民ホール「ルネこだいら」前には、高さ2.8m、幅80cm、重さ1.2tという日本一大きな丸ポストがあります。モニュメントではなく実際に投函することができる“現役”のポストです。

都商工連の新組織

企業支援課が行う支援の内容とは?!

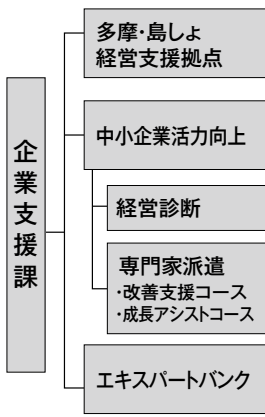
新規の「中小企業活力向上プロジェクト」と、多摩・島しょ経営支援拠点を中心に支援を強化

多摩・島しょ経営支援拠点では相談窓口を開設

今年4月、都商工連の新しい組織「企業支援課」がスタートしました。すでに本格稼働に入っています。しかし、会員の皆様からは「従来とどう変わるのか」「何をやる組織なのか」などのご質問もいただいています。そこで、本号では、Q&A方式で「企業支援課」の詳細な支援の内容をご紹介します。

Q「企業支援課」新設の理由は?

A 都商工連が実施している企業支援事業では支援メニューが増え、その内容も複雑化しています。このため、これまで事業ごとに分散していた業務を集約して、サービスの向上や業務の円滑化を図り、事業者のニーズに応えることが求められます。この課題を解決するため企業支援課を新設しました。また、東京都は平成28年度の新規事業として「中小企業活力向上プロジェクト事業」を開始しました。企業支援課はこの事業も担当します。図1に組織図



▲図1 企業支援課の組織

を示します。

Q「中小企業活力向上プロジェクト」事業とは?

A 「新・経営力向上TOOKYOプロジェクト」をリニューアルし、従来の経営課題解決支援事業と経営変革アシストプログラムを1つにまとめて、より強化した事業です。都内の中・小規模事業者のさらなる体力強化と成長に向け、短期・あるいは中長期にわたり、切れ目なく支援していくという支援事業です。

プロジェクト実行委員会のもと、商工会や商工会議所の経営指導員が診断士や専門家と協力しながら、経営課題発見から問題解決まで、企業ニーズに応じたきめ細かな伴走型支援を行います。これによって、助成金や展示会出展などの出口支援策につなげ、経営のステップアップをフォローしていきます。

Qこの事業の仕組みや利用のしかたは?

A 中小企業活力向上プロジェクト事業では、まず、事業者の皆様から商工会や商工会議所に支援の利用申し込みをしていただきます。最初に1回行う診断士による経営診断チェックは200社が対象です。経営診断チェックを受けると展示会出展助成申請の要件が満たされます。ただし、赤字企業であり診断書に「展示会有効」の記載があることが必要です。その後、専門家派遣を受けられるコースへ進むこともできませんが、展示会出展助成だけでも利用できます。また、この権利は次年まで継続します。

次のステップである専門家派遣コースには、2回の専門家派遣を受けられる「改善支援コース」と、年度内に延べ9回の専門家派遣を活用できる「成長アシストコース」の2つのコースがあります。

改善支援コースは短期的な課題の解決支援を行うコースで100社を支援します。施策活用に向けた支援を得られます。一方、成長アシストコースは、中長期的な課題の解決を支援するコースです。将来の成長に向けた事業計画作りと、その着実な実行を支援していきます。

改善支援コースと成長アシストコースでは、診断報告書の交付時にベテランの中小企業診断士のコーディネータが企業

を訪問し、追加支援の必要性を示します。支援が適切であると判断すると、具体的に専門家を派遣するという仕組みです。事業のスキームを図2に示します。

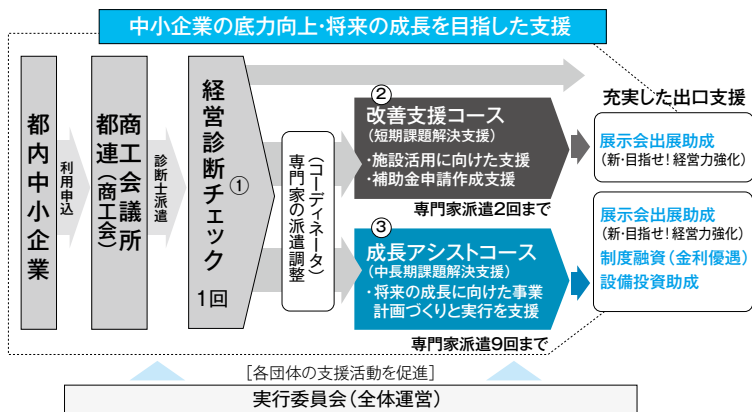
Q「多摩・島しょ経営支援拠点」の位置づけも変わりますか?

A 「多摩・島しょ経営支援拠点」も4月1日に企業支援課に統合されました。引き続き、小規模事業者支援に関わる事業の企画・立案・実施・指導、および中小企業の経営技術強化の支援、事業承継などの持続化支援、創業支援などを行ってまいります。事業承継や販路開拓などをテーマにした講演会・セミナーの開催、コーディネータによる拠点窓口や直接訪問での相談のほか、小規模事業者の経営動向、直面する課題、経営者の意識などについての調査・分析も行います。

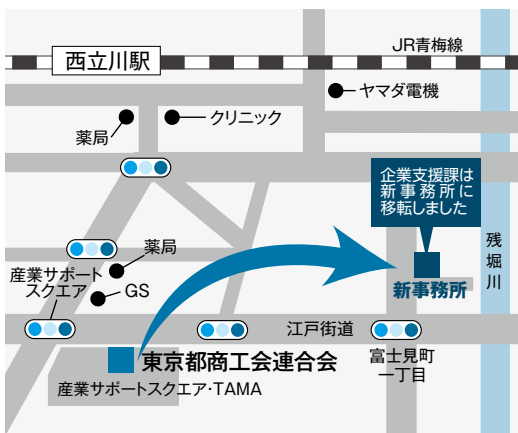
Q今年度の具体的な取り組みは?

A 小規模事業者の皆様には小規模企業の位置づけや支援制度の変化を理解していただくため、講演会報告会の開催に力を入れます。事業承継や販路開拓などをテーマとした地域講演会を2カ所で行うほか、支援事例の報告会も計画しています。

また、経営課題を明確にして必要な支援を検討するため、相談窓口を拠点内に設置します。コーディネータの企業訪問件数も150件程度にする予定です。



▲図2 中小企業活力向上プロジェクト事業のスキーム



企業支援課の連絡先
〒190-0001 立川市富士見町1-18-15
アテナビル202
▼多摩・島しょ経営支援拠点
☎042-540-0130
▼中小企業活力向上(経営診断・改善支援・成長アシスト)／エキスパートバンク
☎042-540-0131
FAXは共通：042-525-5755

す。商工会や商工会議所、地域経済団体などと協力し、地域に向いて行う相談会を34回実施いたします。

専門家の派遣支援事業も充実させます。これまでの経営改善普及事業だけで解決することができなかった経営の大胆な見直し、事業の承継のための新しい経営者育成と経営のバトンタッチ、あるいは新分野進出、販路開拓など、さまざまな経営課題を解決するためにコーディネートと専門家による支援を行います。今年度は150の事業者を

対象とします。1事業者あたり最大12回までの支援が可能です。

支援の内容は①事業承継と後継者育成②新製品・新サービスの開発と販路開拓③創業後間もない小規模企業の経営安定化④業態転換や新分野進出のための第二創業⑤開発した地域ブランドの地元企業による販売促進⑥地域資源を活用してビジネスに取り組むグループの起業⑦地域に貢献するコミュニティビジネスの事業化—などです。

矢部久子さん(羽村市)が主張発表大会で最優秀賞

東京都代表が初めて全国大会に進出

関東ブロック商工会女性部交流研修会

平成28年度関東ブロック商工会女性部交流研修会が7月13日、千葉県勝浦市で開かれ、「主張発表・関東ブロック大会」で、東京都代表の矢部久子さん(羽村市商工会女性部)が最優秀賞に選ばれました。矢部さんは11月8、9日に福島県郡山市で行われる全国大会に進出します。東京都代表が関東ブロック大会で最優秀賞を受賞したのは初めてです。

主張発表大会は、都県連の10人の代表で競われました。矢部さんは「女性部活動と地域振興まちづくり〜もう一度花嫁」というタイトルで発表しました。内容は、50歳以上の女性を対象に、ウエディングドレスを着てスタジオで写真を撮影し、もう一度花嫁になっていただくというイベントの顛末(てんまつ)です。ヘアメイクもウエディングドレスの手配もそれぞれ、本職の女性部員が行い、イベント参加者の感動と思い出作りを手伝った様子を、矢部さんは豊かな表現力で熱く語りました。審査員からも「花嫁も周りもみんな笑顔にな

った様子がよく伝わった」と、高く評価されました。

なお、優秀賞(2位)には栃木県代表の小堀トキ子さん(高根沢町商工会)が、優良賞(3位)には長野県代表の清澤あゆみさん(朝日村商工会)が、それぞれ選ばれました。

交流研修会には、関東ブロック全体で約880人、東京都商工会女性部連合会からは約100人が参加しました。開会式では、廣瀬可世子(関東ブロック商工会女性部連合会連絡協議会会長(東京都商工会女性部連合会会長)が主催者挨拶をされました。また、来賓の高橋渡千葉副知事、一倉正仁(関東経済産業局産業部経営支援課長)から祝辞をいただきました。



▲最優秀賞を受賞した矢部久子さん

国立市商工会の藤村典史さんが最優秀賞

28年度 青年経営者の主張大会 東京都商工会青年部連合会

東京都商工会青年部連合会は7月17日、昭島市のフォレスト・イン昭和館で28年度「青年経営者の主張大会」を開きました。

大会には19の商工会の代表が出場し、①青年部活動に参加して②青年部活動と地域振興・まちづくりの②からテーマを選び、内容を競いました。その結果、最優秀賞には「青年部活動に参加して／サンマ男の縁結び」のテーマで発表した国立市商工会青年部の藤村典史さんが選ばれました。藤村さんは、9月1日にさいたま市で開かれる関東ブロック大会に出場します。

なお、優秀賞には羽村市商工会青年部の草島俊幸さん(青年部活動と地域振興・まちづくり／友と歩み、共に輝く)が、優良賞には東村山市商工会青年部の千葉智之さん(同／大きな翼／東村山を住みたい街NO.1へ)がそれぞれ選ばれました。



▶最優秀賞に選ばれた藤村さん

多摩テクノプラザ内に

複合素材開発サイト 完成 開設記念式を開く

東京都立産業技術研究センター

東京都立産業技術研究センターは、多摩テクノプラザ(昭島市東町・産業サポートスクエアTAMA)内に「複合素材開発サイト」を完成させ、7月27日、同スクエア内で開設記念式を開きました。同サイトは、多摩地域の中小ものづくり企業が、高機能繊維材料や繊維強化複合材料などを用いて、航空機や自動車、医療機器など先端産業分野向けの高機能部品を開発するための技術支援拠点です。高強度繊維用織機やX線電子分光分析装置など先端機械・分析装置を導入、技術相談や試作品の試験などで企業をサポートするとともに、同分野の人材育成にも取り組みます。

奥村次徳同研究センター理事長は「多摩地域の事業者に大いに活用してもらい、新しい事業展開につなげて欲しい」と挨拶しました。また、来賓として挨拶した都商工連の村越会長は「サイトの開設で、多摩の中小企業が航空機や医療機器など、今後、さらに発展する分野の製品開発にチャレンジする環境が整う」と、同サイトへの期待を述べました。



▶複合素材開発サイトの見学会の様子

展示会 インフォメーション

江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2016

10月12日、東京国際フォーラムで開催。東京信用保証協会が主催、東京都、東京都商工会連合会(都商工連)などが後援する中小企業の総合ビジネスフェア。伝統工芸から先端技術、IT関連まで、幅広い業種が一堂に集結。今回で10回目。281の企業・団体が出展予定。業種・業態を超えた交流、取引先や提携先の開拓、新技術・新製品のPR、情報収集の場を提供。

産業交流展2016

10月31日〜11月2日の3日間、東京ビックサイトで開催する国内最大級の中小企業の技術・製品展示会。東京都、東京商工会議所、都商工連などが主催。首都圏の中小企業の優れた技術や製品を展示し、販路拡大、企業間連携や情報収集などのビジネスチャンスを提供。都商工連も4ブースで出展。

第6回 武蔵野エリア産業フェスタ

11月15日、吉祥寺東急REIホテルで開催。武蔵野商工会議所、三鷹商工会、小金井市商工会が主催。武蔵野エリアの中小企業が有する高度な技術や製品を展示。発注企業との直接面談によって広域的な受注の拡大、新規取引先の開拓、情報収集などビジネスチャンスの場を提供。大手・中堅企業を招いて新規顧客や提携先とのマッチングも行う。

平成28年度ニッポン全国物産展

11月25日〜27日の3日間、池袋サンシャインシティで開催。全国商工会連合会が主催。都商工連地域からは「物販コーナー」福生八木(福生市商工会)／くんせい屋いぶし庵(あき野商工会)／新島村商工会／小笠原村商工会【おやつランキング】菓子工房ヒルドルセ(小金井市商工会)【当地フードコート】彩SAIKA雅(東村山市商工会)が出展予定。

多摩ものづくり ガイドブック 18社の掲載が決定

都商工連が「多摩ものづくり発信事業」の一環として行っている「多摩ものづくりガイドブック2016」に掲載する事業者18社が決まりました。ガイドブックに掲載される事業者は、10月31日から東京ビックサイトで開かれる「産業交流展2016」に無料で共同出展できるなどの支援が受けられます。

ガイドブックへの掲載が決定した事業者は次の通りです。

- ▼ティー・アイ・アンド・アイ(瑞穂町)▼ a-SOL Japar(清瀬市)▼ 中央発明研究所(瑞穂町)▼ ダイシヨウ(武蔵村山市)▼ 丸和製作所(昭島市)▼ 秋山木工所(昭島市)▼ システム計装(昭島市)▼ ハイメックス(東久留米市)▼ NMC(小平市)▼ 海野技研(羽村市)▼ 山城製作所(小金井市)▼ 加藤紙器製作所(小平市)▼ 久松機工(瑞穂町)▼ ローザ特殊化粧料(昭島市)▼ ヨシザワ(三鷹市)▼ ティアースコンピュータ(三鷹市)▼ 三幸電機製作所(武蔵村山市)▼ 竹内製作所(調布市)

人事交流

【退職】(6月30日)▼小平・業務 平野久美子▼新島村・記帳 水島寿子

【採用】(7月1日)▼小平・業務 坂井智子▼新島村・一般 山下泉▼都連企業支援課業務 岩撫高明

【異動】(7月1日)▼都連・企業支援課長事務取扱業務を解く、都連・事務局長 村野哲也▼都連・企業支援課課長 都連・企業支援課課長補佐 石川善則

※地域名は商工会名。都連は東京都商工会連合会の略。業務は業務支援員、記帳は記帳相談員、一般は一般職員の略です。

伝統
と
革新

ものづくり・匠の技の祭典 2016

日本のものづくりを支える匠の技の魅力を広く発信

日本のものづくりを支える匠の技の魅力を広く発信するイベント「ものづくり・匠の技の祭典2016～Traditional Skill & TOKYO」が8月10～12日の3日間、東京・丸の内の東京国際フォーラムで開かれました。東京都および東京都の中小企業関連の経済団体、技能士や伝統工芸士の団体などで構成する「ものづくり・匠の技の祭典実行委員会」が主催しました。東京都が日本各地と連携して行う産業振興策「ALL JAPAN & TOKYOプロジェクト」の一環です。東京をはじめ全国各地から100を超えるものづくりや匠の団体が出展しました。

オープニングイベントでは、日本を代表する左官職人で、NHKの大河ドラマ「真田丸」の題字を担当した挟土（はさど）秀平氏が、左官鏝（コテ）で大きな壁面に「主技、職」の字を描くパフォーマンスを行いました。

会場では、「建」「衣」「暮」「工」「食」の分野ごとに伝統的な匠の技を紹介。「建」では左官、板金、瓦葺きなどの技が、「衣」では江戸刺繍、また、「暮」では和紙や木工家具、三線や東京琴の演奏体験などが人気を集めていました。一方、「工」では、大田区の下町ポプスレーやロボットなど高い技術力を誇る中小企業の技を紹介。「食」では、

野菜の飾り切りの実演のほか、多彩な器と盛り付けの妙技によって目でも味わえる日本料理の世界が紹介され、海外からの来場者も興味深そうに見入っていました。江戸切子や各地の陶磁器、漆器、越後三条の打刃物など食関連のアイテムも展示。多摩・島しょのお酒の紹介もありました。



▲挟土秀平氏のパフォーマンス



▲精緻な技と粋な図柄の「江戸刺繍」



▲佐賀の匠が作る「浮立皿」



▲ジャマイカチームが採用「下町ポプスレー」

●問い合わせ
「協会けんぽ」の加入者は、協会けんぽ東京支部健康連東京連合会へ。
03-69693-0111
www.kyokaikenpo.or.jp/shbu/tokyo/

健康優良企業として認定します。
健康優良企業の認定にはSTEP1とSTEP2があり、STEP1は健康経営を行うための職場の環境づくり、環境整備がテーマです。認定されると、協会けんぽ東京支部健康連東京連合会から「銀の認定証」が贈られます。STEP1に認定されるとSTEP2に挑戦できます。STEP2は健康経営、本人と家族の健康づくり、安全衛生がテーマで、認定されると健康企業宣言東京推進協議会から「金の認定証」が贈られます。

健康優良企業の認定を目指そう！
健康企業宣言東京推進協議会
東京都、全国健康保険協会東京支部、東京都商工会連合会、東京商工会議所、東京都医師会など、自治体、医療保険制度保険者、経済団体、関係団体が連携して設立した「健康企業宣言東京推進協議会」は、東京都内の中小企業に対して「健康企業の宣言」を促す取り組みを8月からスタートさせました。中小企業が、健康優良企業を目指して企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言して、一定の成果を上げた場合に「健康優良企業」として認定します。

健康企業宣言 をして

健康優良企業の認定を目指そう！



社員研修を実施している中小企業を支援します！

東京都中小企業職業訓練助成金のご案内

例① 自社で企画して実施する研修

「新入社員研修(ビジネスマナー)」に社員20名、2日間で計10時間受講
▶助成額 20名×10時間×430円＝86,000円

例② 教育期間に派遣して実施する講習

「技能検定(機械加工)の準備研修」に社員10名、2日間で計16時間受講
▶助成額 10名×16時間×430円＝68,800円

▼詳細は

「TOKYOはたらくねっと」HPをご覧ください。(http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/school/ikusei/kunren_josei/) はたらくネットトップページ▶職業能力開発▶企業の人材育成・確保▶東京都中小企業職業訓練制度

東京都 職業訓練助成金 検索 からご覧いただけます。

▼問い合わせ・申請は

東京都立多摩職業能力開発センター 人材育成課まで(TEL042-500-8700)



この人に聞く 島おこし・多摩おこし

小平で「喜ばれるモノづくり」に挑戦する

アサ電子工業(株) 代表取締役 麻健氏 (小平商工会 工業部会長)

小平市 vol.2

一企業ポリシーに「喜ばれるモノづくり・サービス」を掲げられています。

当社の売上の7割を占めるのがカップリング（軸継手）という機械要素部品。モーターなどの駆動軸と従動軸をつないで回転力を伝える役割を果たす。当社のカップリングは6シリーズ30種類以上と多い。用途を絞った開発ではなく、幅広い製品ラインアップを整えることで、ユーザーに選ばれることが重要と考えている。逆に、ターゲットを絞った製品を大量に生産し安く供給するのは、中小企業の体力では難しい。製品開発において、製品化して売れ始めるまでに5年、10年を要しても構わないと考えている。「広く・薄く・長く」を狙い、「今までのものとは違う」ことをユーザーが理解し、喜んで使ってもらうことが大切だと思う。

一小ロットで多品種というのは、生産効率が悪いと思われませんが？

カップリングのディスク部分にたわみ性を持たせる材料を使い、両方の軸間の芯ずれを吸収する方式がある。当社は、その材料に引っ張り強度が高いポリイミドを使ってみた。しかし、ポリイミドは積層しなければ構造材としては使えない。大企業はそんな面倒くさいことはやらない。しかし、当社はこの面倒くさい

ことを自前でやる。ユーザーの喜び顔を想像しながら辛抱強くやる。結果、このタイプは当社だけになった。生産効率は確かに良いとは言えないが、むしろそれを強みとしたい。

一モノづくりに対する中小企業の凄みを見たような気がします。

私が子供のころは中小企業が身近にあった。隣家の車庫から旋盤が金属を削る音が聞こえた。今は子供とモノづくりの現場との距離が大きくなってしまった。だから、毎年11月に行われる「小平市産業まつり」では、小中学生向けに工作教室を開いている。工具を使ったり、図面とにらめっこしたりして、モノづくりの楽しさを感じてもらいたい。この体験を彼らが将来に生かしてくれれば、なおうれしい。製造業を日本に残すために、地元での地道な活動を続けていきたい。

〒187-0031
東京都小平市小川東町5-16-8
テクノイト小平
TEL : 042-341-8551
URL : www.asaden.co.jp



カップリングの組立て作業▶

中小企業景況調査 多摩地域商工会エリアの景況

28年度 第1・四半期 4~6月

全業種で売上高DIが2期連続悪化、採算DIも前期を下回る

製造業

売上高前期比DIと採算期中DIが悪化。資金繰りDIは改善。経営上の問題点の第1位は5期連続「需要の停滞」。

小売業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は5期連続「大・中型店との競争激化」。

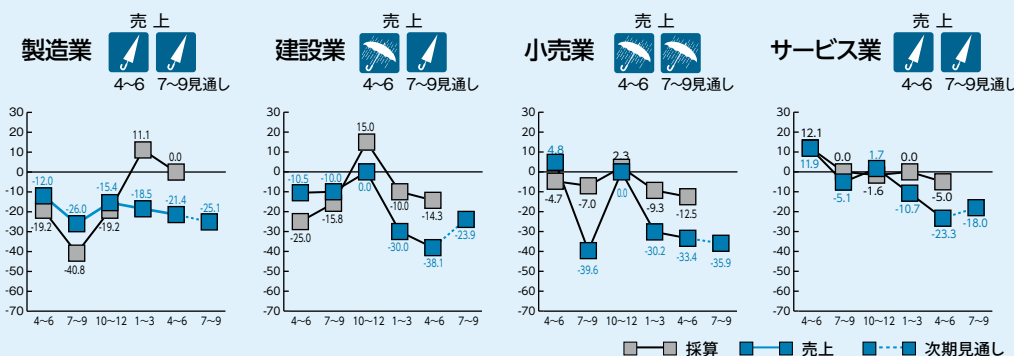
建設業

売上高前期比DIと採算期中DIが悪化。資金繰りDIはわずかに改善。経営上の問題点の第1位は5期連続「需要の停滞」。

サービス業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は「利用者ニーズの変化」と「仕入単価の上昇」が2期連続で並ぶ。

売上高（前期比DI）・採算（期中DI）の推移



調査企業の声

- * 中国経済の減速により受注が減少している。同業他社との競争が激化し、受注単価は低下している。(分析機器製造業)
- * 新年度になり、大手ゼネコンを含め現場がない状況がみられ、数少ない案件で金額の叩き合いが凄まじいとの情報もある。(一般土木建築工事業)
- * 若いアルバイトや社員の確保が難しく、高齢の働き手ばかりになりつつある。(食肉小売業)
- * 仕入の高騰と人件費の上昇を厳しく感じている。(日本料理店)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。

注2. DIマーク ☀️: +30 ~ ☁️: +10 ~ +30 ☁️: +10 ~ -10 ☁️: -10 ~ -30 ☁️: -30 ~
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

私と商工会

| vol.15 |



オリジナル家具で 下請けからの脱却を目指す

持続化補助金で展示会に出展へ
商工会とタッグを組んで山積する課題に挑戦

| ㈱細田木工所 |
家具職人 細田 真之介氏

創業は社長である祖父の代、今から48年前です。建具を造っていました。一方、父は大学卒業後に大手ハウスメーカーのミサワホームに入り、その後、家業を継ぎました。一級建築士である父は「建具だけでは大きくなれない」として、造作家具（造り付け家具）の分野へ目を向けました。祖父とは事業の方向性が異なり議論があったと聞いています。ミサワホームの協力会社として造作家具を造るという事業スタイルは、ミサワ側の評価が高いこともあって、その後も安定的に推移し、現在も継続しています。

三代目である私は、高校の頃から家の仕事を手伝っていました。早くから「家具職人」でやっていこうと決めていましたので、大学の建築学科で学んではいたものの、就職はまったく考えていませんでした。ただ、造作家具をガムシャラに造っていても「報われない」という気持ちがどこかにありました。「下請けでは自分のオリジナリティが生かせない、独自製品を造りたい」という欲求を抑えることができませんでした。

下請けから脱却し、オリジナル家具で独立したいと考えました。そこで創業スクールを受講したところ、「小規模事業者持続化補助金」の話聞き、商工会に飛び込みました。平成27年2月のことです。展示会への出展費用が是非とも欲しかったからです。商工会の指導員さんには、採択された後の完了報告まで面倒を見ていただいた上に、次から次へと色々な提案をしていただきました。大変感謝しています。

私が考えている「オリジナル製品」は、造作の「ワザ」をふんだんに採り入れた家具です。「新しいだけでは物足りない」というユーザーに対して、素材に“遊びどころ”を加えたデザインで訴求していこうと考えました。大量生産・大量消費の製品とは違い、「小さく小さく囲まれたところ」を大事にしたいという思いでいます。

ただ、祖父や父の考えている事業の姿とはまだまだ隔たりがあり、どのように新事業を発展させるのか？次のステップを踏むには既存の売上を確保しないと難しいのではないかなど、今後への課題は山積しています。商工会さんとタッグを組んで、一つひとつ解決していきたいと考えています。

■会社プロフィール

日常に“遊びどころ”を

家具職人三代目の真之介氏が、今、注目している家具の素材は、北海道のメーカーが間伐材を用いて作った合板。色の付いた紙を積層する板の間にはさんだ構造が特徴だ。色は切断面に出るので、この色を効果的に使えば家具にアクセントをつけられる。

例えば、収納用のダンスならば、家族それぞれが1つずつ色の付いた特別な引き出しを持てる。父はクラシックな一眼レフ、母はお気に入りのエプロン、子供は大切なおもちゃを入れる…。それぞれの「たいせつな箱」は、家具という日常的に使う道具に「遊びどころ」という彩りを加える。そんなイメージで家具を造っていく。建具や造作の技術を活かして壁から飛び出す収納棚も考えた。11月の家具の展示会に出展する予定だ。大学の友人と共同で立ち上げる予定のブランド名は「SENCE OF FAN (SOF)」。モノを造ることだけでなく遊びどころをキーワードに素手で激戦分野に挑戦する。

自社製品を持つという挑戦への不安はある。周囲からは「それは無理だ」とか、「まず経営体力を付けなければ」などの声が上がります。それを払拭してくれたのが東久留米商工会の原副会長だったという。原副会長は、親身になって商品開発の相談に乗り、さらに入会して間もない彼に「社会勉強になるから」と、工業部会に入ることを勧めた。真之介氏は早くも部会の役員として活躍中だ。25歳一。先輩の経験談が何よりも参考になる。

地域貢献にも乗り出す。東久留米市と行う「学校机修繕プロジェクト」がそれ。毎年、同市では500台ほど机が廃棄処分されるが、フレームはまだ使える。傷ついた天板を色つぎ合板に替えてリメイクする。小学生にモノを大事に使うことを示すとともに、殺風景な教室を遊びどころのある机で彩っていく。

- 本社：東京都東久留米市
新川町2-9-7
- TEL：042-471-5991



「たいせつな箱」▶



岩崎 哲二
東久留米市
商工会
経営指導員

| 経営指導員から一言 |

全力で応援しています！

細田さんとは短いお付き合いですが、礼儀正しく控えめでありながら強い信念を感じ、「全力で応援したい」という思いにさせていただいています。

新規分野への参入は色々困難があると思いますが、巡回や窓口の相談はもちろん、エキスパートバンク、経営力向上支援事業、多摩島しょ拠点支援事業等の公的支援を活用しながら、個人的にお付き合いのあるJ:COMなどのメディアにも取り上げてもらうなどして、高いモチベーションを維持していただきたいと思います。

産業サポートスクエアTAMAの ウェルカムデー

※公開日は下記の通り施設により異なります。●印は開催日です

平成28年 10/21金-22土 10:00-15:00

| 場所 | 産業サポートスクエアTAMA 昭島市東町3-6-1

産業サポートスクエアTAMAの各施設とイベント内容	10/21金	10/22土
商工会連合会(熊本地震復興支援、特産品販売)		●
中小企業企業振興公社(多摩地域中小企業の製品展示販売)		●
産業技術研究センター多摩テクノプラザ(セミナー、講演/体験教室、サイエンスショー)	●	●
多摩職業能力開発センター(工作体験、模擬店、昭島市オーケストラ演奏)		●
農林水産振興財団(事業・研究紹介展示、物品販売)		●

イベント等は、都合により変更する場合があります。



10月 11月 EVENT GUIDE

多摩・島しょ地域のイベント

Table with 5 columns: 日程 (Date), イベント名 (Event Name), 会場 (Venue), 内容 (Content), 主催者・問合せ先 (Organizer/Contact). Rows list various events from 8th to 27th, including festivals, exhibitions, and community events across different municipalities in the region.

念のため主催者に日にち、会場などをご確認の上、お出掛け下さい。

